



新富士ロータリークラブ会報

ROTARY CONNECTS THE WORLD

— ロータリーは世界をつなぐ —

R I 会長 マク・ダニエル・マローニ
第2620地区ガバナー 安間みち子
新富士 R. C. 会長 堀井健治
幹事 長原 幹

事務所：富士市平垣本町8番1号
例会場：ホテルグランド富士内
TEL(0545)61-0360
例会日時：毎月第2・3・4火曜日
12:30~13:30



第1358回例会 (2019. 11. 26)

司会 稲葉 邦文会場監督

ソング 「我等の生業」

四つのテスト唱和・本年度新富士 R C テーマ唱和

R I テーマ唱和

会長挨拶

先週の木曜日、午前0時にボジョレーヌーボーが解禁されました。

先進国の中で、一番初めにボジョレーヌーボーが解禁になることで、ひと昔前は「ボジョレーブーム」と言われて、日本中でイベントがおこなわれ、テレビでも大々的に取り上げられて、大いに盛り上がりましたが、最近は沈静化してしまいました。パブルのころは、日本がボジョレーヌーボーを買い占めてフランス人が飲むワインが無くなったり、他の国でヌーボーなる新酒を作って日本に入れたり、フランスからひんしゆくを買いました。また、本来ボジョレーヌーボーは低価格のワインであり、それを11月第3木曜日の解禁日に合わせるために、空輸します。瓶詰めのワインは重量もあるために輸送代もかかります。そうすると、飛行機代を飲んでいような気になってきますが、皆さんはどう感じますか。

ボジョレー地区は、フランスパリの南東に位置するブルゴーニュ地方の南部リヨンから北に広がる地区です。この地区では、黒ブドウ「ガメイ種」というブドウが取れます。ボジョレーヌーボーは、フランスで一番最初に出来上がる新酒です。もともとはボジョレー地区の収穫祭を祝うための新酒でしたが、収穫後すぐに飲めるワインであることから、世界中で人気になりました。ボジョレーヌーボーは「マセラシオン・カルボニック法」という特殊な製法で造られます。これはブドウを潰さず、丸ごと密閉タンクに詰め込んでいっ

ぱいにします。いっぱいにすることで、ブドウは自らの重さで下のほうのブドウが潰れて自然に発酵が始まり、この時の炭酸ガスがタンクに溜まっていきます。炭酸ガスに浸かることによって、ブドウの果皮の色素が出やすくなり、美しいルビー色が出ます。この状態で数日置くと、酸味が柔らかくなり、フレッシュな果実味豊かなワインが出来上がります。

では、解禁日はなぜ11月第3木曜日なのでしょう。当初は、11月15日でしたが、年によっては、15日が土日にあたることもあります。フランスでは、日曜日は運送業者やワインショップ、レストランが休業になるため、フランス政府が1984年に第3木曜日と決めました。

日本で造られたワインでヌーボー（新酒）祭りをやっているところがあるか、調べてみました。そうしたら、山梨ヌーボー祭りがありました。毎年11月3日が解禁日だそうで、なぜか日比谷公園でやっているそうです。地元山梨では今年は11月16日、17日に行われたようですが、皆さんは知っていましたか。私は、近所に酒屋があり、毎年その店のボジョレーヌーボーを飲んでいました。

ゲスト

菅井 良美様



幹事報告

- ①ガバナー事務所より、首里城火災に対する支援のお願い 受信回覧
- ②日本のロータリー100周年実行委員会、ビジョン策定委員会より、「クラブと会員のロータリーに関する意識調査（アンケート）」のお願い 受信回覧
- ③週報受信回覧 富士宮 R C 沼津西 R C

プログラム予定

12月17日(火) クリスマス例会
(あさくま)

12月24日(火) 通常例会 (卓話)

出席報告

例会回数	計算会員数	出席者数	欠席者数	MU	出席率
第1358回	21	19	2		暫定90.47%

《本日の欠席者》

久保田元久君 渡邊 哲男君

私のスマイル

仲澤 千尋君 野村さんにスマイル！
長原 幹君 菅井さんの、CNFについての卓話楽しみにしています。
赤渕 浩雄君 寒暖の差が激しすぎて、体調管理が大変です。菅井良美さん卓話宜しくお願いします。
木村 憲司君 台風が28号発生しました。11月としては最高の数だそうです。



潮来 克士君 寒くなりました。体調に気をつけます。
和田 三郎君 本日は、菅井良美様に卓話をさせていただきます。私のたのもしい後輩です。
小山 哲君 冬眠する訳でもないのに、今年もウエスト周りやワイシャツの首回りがきつくなりトホホです。
堀井 健治君 スガイ様、卓話よろしくお願ひします。
本多 脩身君 受付でつかまってしまつて。
川村 武君 野村さんをみてスマイルしたくなりました。



会長挨拶
堀井 健治会長



出席委員会報告
渡邊勝英出席委員

卓話

富士市のCNFに関する取り組み

富士市CNF普及推進員
菅井 良美 様



1. ものづくりのまち 富士市

富士市は、富士山からの豊かな地下水を活用して、古くから「紙のまち」として発展してきました。また、紙・パルプだけでなく鉄道や田子の浦港の築造や東名高速道路・新東名高速道路の開通などを契機に、輸送機械・食品化工・化学工業等の企業が進出し、県内有数の工業都市として重要な役割を果たしています。

2. 富士市の工業の現状

製造品出荷額等は横ばい状況にあるものの、事業所数は、平成10年には1288事業所あったものが、平成29年では784事業所と60%にまで減少しています。

3. CNF（セルロースナノファイバー）に着目

このような中、富士市では次世代の新素材であるCNFに着目し、CNFの利活用促進等を通して「持続的なものづくりのまち」の形成に取り組んでいます。

CNFは、木材等植物の主成分セルロースを、数～数十ナノメートル（1ナノメートル＝1ミリメートルの百万分の1）まで小さくした物質です。

CNFの特性は軽くて強い、透明性が高い、熱変性が少なく寸法安定性に優れている、植物由来で環境に優しいなど、これらの特性を活かして、自動車、家電品、インク、塗料、化粧品、食品など、様々な用途展開が期待されています。

4. 富士市でのCNF製品開発事例

(1)五條製紙(株)

「保湿ティッシュ」…CNFの添加により、強度、抗菌性がアップ。

「蒸着紙」…CNF混合塗工剤により、表面硬度、光沢度、透明性がアップ。

(2)株田子の月

「どらやき」…CNFの添加により、しっとり、ふわっと感が向上。

(3)株コーヨー化成

「化粧品」…CNFの添加により、保湿性がアップ。

(4)日本製紙(株)・日本製紙クレシア(株)

「紙おむつ」…CNFの添加により、消臭効果が向上。

5. CNFの実用化促進に向けた富士市の取り組み

(1)富士市CNF研究会の開催

CNFの最前線で活躍する研究者や事業者から、CNFの基礎知識や活用手法等について学びます。（これまでに、計5回開催）

(2)実用化促進に向けた補助制度の創設と運用

- ・CNFの研究開発を大学や研究機関などと共同で行った際に、その費用の一部を補助。
- ・研究開発用のCNFを作る機械の購入費用の一部を補助。

(3)CNFの情報収集・発信

他地域のCNF推進組織との情報交換や各種フォーラムへの出席等を通して情報収集を行い、市民・事業者への発信を行っています。

6. 「富士市CNF関連産業推進構想」の策定

平成31年3月、目指すべき将来像を「CNFでつながりひろがるものづくりのまち」とする推進構想を策定しました。

【推進構想に基づく施策】

- ・取組ステージに応じたCNF知識の普及
- ・人材育成と研究機能の強化に向けた拠点整備
- ・企業等のマッチング機会の創出
- ・富士市CNFプラットフォームの設立
- ・CNFのまちシティプロモーションの強化など

7. 富士市CNFプラットフォーム

富士市が事務局となり、静岡県と連携して、実用化・製品化に向けた企業同士のマッチングやネットワーク構築、用途・製品開発を促進する取り組みを支援・展開します。

CNFは世に出たばかりの新素材ですが、CNFの実用化促進・CNF関連産業の集積化を図り、本市産業全体の活性化、持続可能な産業構造と社会の構築を目指します。

今後のCNFに関する報道や動向、富士市の取り組みに注目してください！